



VICTORINOX

003

My First Victorinox Multi Tools

vol.3 バードコールをつくろう



VICTORINOX

ビクトリノックスは、今から130年ほど前、スイスの小さな村で生まれたマルチツール。子ども用に開発された「ティンカー for KIDS」を使って、親子でものづくりに挑戦します。先生は建築家・デザイナーの加藤 匠毅さん。小鳥のさえずりがかわいいバードコールをつくります。

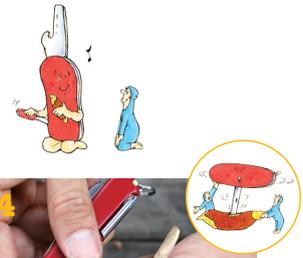


バードウォッチングに
出かけよう!



How to make a Bird Call

バードコールをつくろう



1 枝の盛り上がったところを鳥の頭に、細いところを尻尾に見立てて、10cm幅に折ります。



2 ラウンドティップ・ブレードで鳥の形になるように、削ります。



3 枝の尖った部分は、やすりで削って、なめらかにします。



4 鳥の背中にあたる部分に、リーマーで穴をあけます。



10 ひもをつけたボルトをねじ込んだら完成!

用意するもの
 ティンカー for KIDS
 木の枝
 アイボルト (M6サイズ)
 ひも



5 開けた穴にアイボルトをゆっくりとねじ込み、キュッキュッと音がなるか確認します。



9 首にかけられるよう長さを調節して、ひもを結びます。



8 そのまま、ボルト全体にひもを巻きつけていきます。



7 アイボルトに、好きな色のひもをくくりつけます。



6 いったん、ボルトを取り外します。穴のなかに木の粉が残っていたら取り除いてください。

profile

加藤匡毅 建築家・デザイナー。隈研吾建築都市設計事務所、IDEE、GEOGRAPHを経て、2012年より設計・デザイン事務所 PUDDLE を設立。プロダクトからカフェ・住宅・オフィス、宇宙エレベーターまで普遍性と経年変化をテーマにデザインを行う。「宇宙エレベーターデザインコンペ」最優秀賞・特別賞、グッドデザイン賞受賞。www.puddle.co.jp

point! ▶ 鳥の形に削っていくときに、少し樹皮を残すようにすると、仕上がりがかわくなります。アレンジとして、目や足を取りつけると、より本物の鳥らしくなりますよ! ただし、鳥の繁殖期はなるべく鳴らすのを避けましょう。



写真: 福田真知子 イラスト: 中垣ゆたか



VICTORINOX

スイスの小さな村で生まれた
マルチツール

1884年、ドイツとフランスで刃物づくりの修業を積んだ創業者カール・エルズナーが、故郷スイスのイーバッハという小さな村で工房を開設したことから始まり、ビクトリノックスのマルチツールは生まれました。創業から1世紀以上、人々の日常生活をサポートするだけでなく、エベレスト、アマゾンやスペースシャトルの船内など、さまざまなアドベンチャーの現場にも立ち会っています。

VICTORINOX for KIDS

先端が丸くなったナイフを搭載したマルチツール「ティンカー for KIDS」は、子どもが初めてもつ1本として推奨しています。その「ティンカー for KIDS」と、ナイフを使った工作を提案する「脳育工作キット」をセットにした「ビクトリノックス脳育工作BOXセット」。ナイフの正しい使いかたを学べる教本も同梱され、ナイフ経験に自信のない保護者の方でも、子どもと一緒に楽しむことができるセットです。



ティンカー for KIDS (単品)
¥2,800 (税抜)



脳育工作 BOX セット
ひのきのおやこぼし
¥3,800 (税抜)



脳育工作 BOX セット
ひのきのとんぼ
¥3,800 (税抜)

【お問い合わせ】 ビクトリノックス・ジャパン株式会社 ☎ 03-3796-0951
www.victorinox.com/jp